



品種
・丸形「ニューコメット(赤色)」
・長形「曹小町(白色)」

ラディッシュ

栽培のポイント

① 生育時の高温に注意!

ラディッシュは冷涼な気候を好みます。高温期に栽培すると、徒長したり根の形が悪くなったりしやすいので、寒冷紗で覆って温度を下げましょう。プランター栽培の場合、木陰か風通しの良い日陰などへ移動させるなど、暑さ対策を行いましょう。

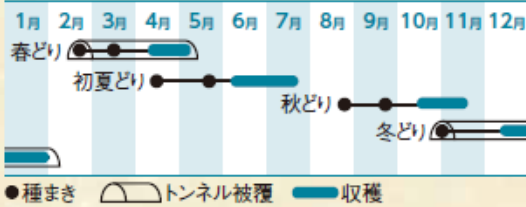
② とり遅れに気をつけよう

生長が早く、とり遅れるとすが入りやすいので、適期の収穫を心がけましょう。また、まき時を少しずつずらして、長期的に収穫できるように工夫しましょう。

③ 害虫対策を徹底しよう

コナガやヨトウムシなど害虫の被害を受けやすいので、発生が多い時期には防虫ネットや不織布などで覆い、飛来を防ぎましょう。

栽培カレンダー



1 畑の準備

畑全面に元肥をばらまいて、20cmほどの深さによく耕す

(1㎡当たり)
完熟堆肥: 4~5握り
油粕、化成肥料: 各大きじ5杯

2 種まき

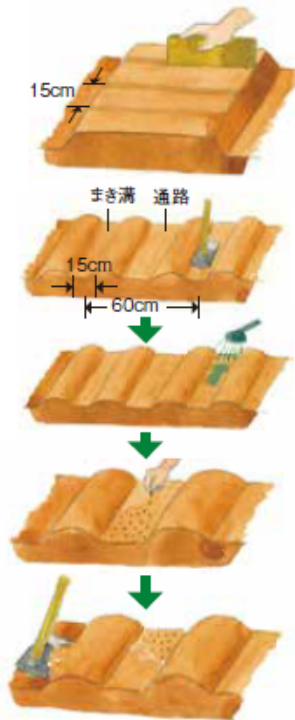
ベッドまきの場合
床面をていねいにならして、板切れで幅2cm、深さ1cmくらいの溝をつける。種を1cm間隔くらいにまき、1cm厚さに覆土する

溝まきの場合
鍬幅よりやや広めの溝を掘り、底面をていねいにならす

じょうろの蓮口で溝面いっぱい^みに灌水する。はみ出すと覆土がしにくくなる

種の間隔が2cmくらいになるようにまんべんなくまく

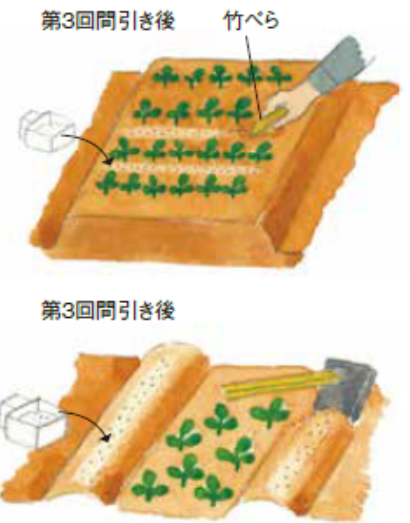
1cm厚さに覆土する。その後、鍬の背で鎮圧する



4 追肥

ベッドまきの場合
(1㎡当たり)
化成肥料: 大きじ3杯
条間にまいて竹べらで土と混ぜる

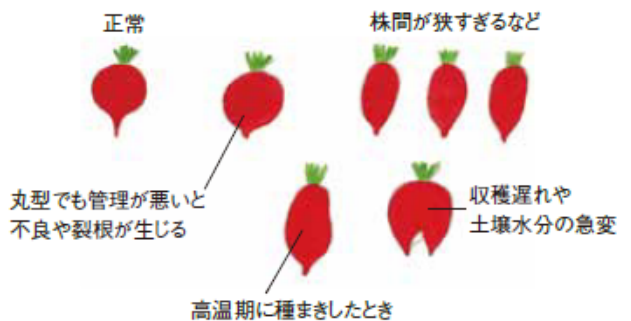
溝まきの場合
(溝の長さ1m当たり)
化成肥料: 大きじ3杯
溝の両側にまき、鍬で土と混ぜる



5 収穫



〈不良根の原因〉



3 間引き

第1回
発芽ぞろいのころ、とくに込み合っているところを間引く

第2回
本葉1枚のころ

第3回
本葉3枚のころ

株間を十分に与えると根がよく肥大する

